リハビリテーション総合実施計画書

												•		,	Ċ			計画評価	1実施	日	4	年月	日
患者	 氏名			男	· 女	生	年	月日 (明	・大・眼	昭・平))	年		月		日	(歳)	利き	手	右·右	(矯正)	·左
主治医リハ担当医						Т			TC		S7					看詢			SW∜	*			
原因疾患(発症·受傷日)				(高血圧, 心疾患, 糖尿病等)						起立性	症候群 □軽度 □中等度 □重度 リハビリテーション歴 立性低血圧 脈血栓							歴					
日常生活自立度: J1, J2, A1, A2, B1, B2, C1, C2 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準: I, Ⅱa, Ⅲb, Ⅲa, Ⅲb, Ⅳ, M																							
評価項目・内容(コロン(:)の後に具体的内容を記入)																							
心身機能・構造	□筋力低下 □不随意運 立位保持 本 平行棒内	: : : : : : : : : : : : : : : : : : :	害:)	上手□無□無□無□無□無□無□無□無□無□無□無□無□無□無□無□無□無□無□無	放し 立 , 立 ,	指:	つかまり -部介助, -部介助,	□全介 □全介	可助助	音失摂排呼拘褥疼	声行食世吸縮瘡痛 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	発言 失認 能 能	新障 8: 障害	害(〔□村	構 ^計	表在覚,	□失語	吾症)(種類:	他:)
	ADL·ASL等			監	- 3	全身				ている	'る"活動"」			監		全.	非		:「できる"		活動″」		
活動					部介							使用用具 杖・装具	具 姿勢・実行場所 具 介助内容 等										
	屋外歩行 階段昇降 廊下歩行 病棟トイレへの歩行 病棟トイレへの車椅子駆動(星) 車椅子・ペッド間移乗 椅子座位保持 ペッド起き上がり				- -		杖· 杖·	Ų:										杖·装具: 杖·装具: 杖·装具: 杖·装具: 禁具: 装具:					
	食事 排尿(昼) 排尿(夜) 整容 更衣 装具・靴の え浴						用便便移姿姿裕	器: 器: 動方法・姿 势: 势:	勢:									用具: 便器: 便器: 移動方法・ 姿勢: 姿勢: 浴槽:	姿勢:				
	コミュニケー	ション																					
	月	中臥床:□無,□酒			なし)), □柞			ħ,							ッド上	, □+'t)	ッチアップ)
栄養	身長 ^{*1} :()cm, 体重:()kg, BMI ^{*1} :()kg/m ² #1 身長測定が困難な場合は省略可 栄養補給方法(複数選択可): □経口(□食事, □補助食品), □経管栄養, □静脈栄養(□末梢, □中心) 嚥下調整食の必要性: □無, □有(学会分類コード:) 栄養状態: □問題なし, □低栄養, □低栄養リスク, □過栄養, □その他()																						
*	#2 入院直後等で不明の場合は総提供栄養量でも可											たんぱく質()g											
参加	(職種·業種·仕事内容:)	社会参加(内容·頻度等) 余暇活動(内容·頻度等)														
心理	障害の受容(□ショック期 ,□否認期,□怒り・恨み期, □悲観・抑うつ期、□解決への努力期、□受容期)							依	依存欲求(□強い、□中程度、□普通、□弱い) 独立欲求(□強い、□中程度、□普通、□弱い)														
環境								家	家屋 : 家屋周囲: 交通手段:														
第三者の	発病による。 □社会生 □健康上の	家族の変化 活: の問題の発生:									•												

基本力	7針	本人の希望								
		家族の希望								
リスク・	疾病管理(含:過用・誤用)									
リハビ	リテーション終了の目安・時期									
), ·C.		7111								
	目標(到達時期)		具体的]アプローチ						
	退院先 □自宅 □親族宅 □医療機関 □その他:									
	復職 □現職復帰 □転職 □不可 □その他:									
	(仕事内容:)								
加煙	通勤方法の変更 □無 □有: 家庭内役割:									
	趣味:									
	自宅内歩行 □不可 □自立 □介助:									
	(装具•杖等:)								
	屋外歩行 □不可 □自立 □介助:									
	(装具•杖等:)								
	交通機関利用 □不可 □自立 □介助:									
す)								
7	車椅子 □不要 □電動 □手動 (使用場所: (駆動 □自立 □介助)(移乗 □自立 □介助:)								
付 🕁	排泄 □自立:形態 □洋式 □和式 □立ち便器 □その他)								
動行	□介助:									
状	食事 □箸自立 □フォーク等自立 □介助:									
況	整容 □自立 □介助:									
	更衣 □自立 □介助:									
	入浴 □自宅浴槽自立 □介助:									
	家事 □全部実施 □非実施 □一部実施:									
	書字 □自立 □利き手交換後自立 □その他: コミュニケーション □問題なし □問題あり:									
	基本動作(訓練室歩行等)									
心。										
身構造	要素的機能(拘縮・麻痺等)									
能坦	27/11/2 Mail (1 2/11) / 17/									
心	機能障害改善への固執からの脱却:									
理										
_	自宅改造 □不要 □要:									
環 境	福祉機器 □不要 □要:									
児	社会保障サービス □不要 □身障手帳 □障害年金 □その他:									
fryfen	介護保険サービス □不要 □要:									
第二不	退院後の主介護者 □不要 □要: 家族構成の変化 □不要 □要:									
	家族内役割の変化 □不要 □要:									
の	家族の社会活動変化 □不要 □要:									
退院後	又は終了後のリハビリテーション計画(種類・頻度・期間) 備考		•							
	m4									
<u> </u>		-								
本人・	家族への説明 年 月 日本人サイン	家	族サイン	説明者サイン						

⁽リハビリテーション実施計画書及びリハビリテーション総合実施計画書記入上の注意)
1. 日常生活自立度の欄については、「「障害老人の日常生活自立度 (寝たきり度) 判定基準」の活用について」(平成3年11月18日 老健第102-2号)厚生省大臣官房老人保健福祉部長通知によるランクJI、J2、AI、A2、BI、B2、C1又はC2に該当するものであること。
2. 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準の欄については、「「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」の活用について」(平成5年10月26日 老健第135号)厚生省老人保健福祉局長通知によるランク I、II a、II b、III a、III b、IV 又はMに該当するものであること。
3. 日常生活 (病棟) 実行状況:「している"活動"」の欄については、自宅又は病棟等における実生活で実行している状況についてであること。
4. 訓練時能力:「できる"活動"」の欄については、機能訓練室又は病棟等における訓練・評価時に行なうことができる能力についてであること。